

情報公開文書

「人工知能による歯科パノラレントゲンを使用した人定（後向き研究）」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、「近畿大学医学部倫理委員会」で審議され、その実施について医学部長より許可を得ています。この研究の実施期間は、承認後から3年間を予定しています。

① 情報の利用目的及び利用方法

日常に生じる身元不明遺体の捜索、地震や洪水などの大災害によって生じた遺体の身元の確認、在宅医療で死亡した独居老人の個人特定など、様々な領域において「歯のデータ」は、その堅牢性を特徴とし、個人の人定のための生体認証として利用されています。

人定のための歯科治療記録は、依然、必要となった時に、人海戦術でカルテやレントゲン画像などの歯科記録を膨大な時間と労力を費やして収集し、利用されているという問題があり、この作業をできるだけ効率化するために、歯科所見をコード化したものをデータベースにし、身元確認作業の精度や効率性を大幅に向上させることを歯科医師会も推進しています。

上記の問題点を解消するために本学では、「人工知能による歯科パノラレントゲンを使用した人定」の開発を行っております。人工知能（AI）に沢山の患者様の「歯科パノラレントゲン」を学習させることにより、瞬時に個人を特定する技術を開発することを目的としております。

② 利用する情報の項目

研究協力機関で歯科治療を受け、歯科パノラレントゲン撮影を実施した患者様の歯科パノラレントゲン画像

③ 利用する者の範囲

（研究責任者）

榎本明史 近畿大学病院・歯科口腔外科・准教授

（研究分担者）

助臺美帆 近畿大学病院・歯科口腔外科・医学部講師

岩崎早苗 近畿大学病院・歯科口腔外科・医学部講師

李 篤史 近畿大学病院・歯科口腔外科・医学部講師

（研究協力機関（研究資料の提供））

伊吹 薫 医療法人 IDC・理事長
山本英輝 医療法人英悠会・理事長

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称
(研究責任者)

榎本明史 近畿大学病院・歯科口腔外科・准教授

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

連絡先： 近畿大学病院 歯科口腔外科

担当者： 榎本明史

研究代表者： 榎本明史

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

電話 072-366-0221 (代)